



答えて市長！

一般質問

一般質問は、12月12日から14日の3日間にわたりに行われました。

質問・答弁ともに質問者が要約しています。詳細な内容は会議録をご覧ください。会議録はホームページや市立図書館等で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、3月上旬となります。

未来を育む児童福祉の推進について

中嶋 通治

問 近隣の自治会で高齢者と育児をしている母親との交流があり、子育て支援に重要であると考えますが、見解は。

答市長 「ふれあいサロン」は、高齢者の方には社会参画の場として、大変有益であり、他の団体にも周知し、多くの団体を世代を超えた交流事業を実施できるよう支援します。

◆ホームスタート事業の取り組みについて

問 6歳以下の乳幼児がいる

家庭に、定められた研修を受けたボランティアが週1、2回2時間程度、無償で自宅を訪問し、子育ての悩みを受け止め、子供と遊んだり、共に家事をし、子育ての悩みを聞き、親の自信の回復等を目指す事業ですが、当市に於いては、どの様な考えをされているのかをお尋ねします。

答市長 新しいスタイルの子育て支援策として、有効であると認識しています。地域の人と人との温かい連携の中から、親が安定を取り戻し、子育てを原因とした孤立や、児童虐待の予防につながるものと考え、平成25年度から取り組んで参ります。

防犯灯LED化を経費削減効果の高いリース方式で

互 金次郎

問 東日本大震災を機に、エネルギー政策の転換と、逼迫する電力事情から省エネ対策の推進が重要な課題となっています。LED照明の導入は、省エネ対策として有効であると同時に財政負担の軽減も図ることができません。最近

では防犯灯などのLED化をリース方式により更なる財政負担の軽減を図る自治体が増えていきます。

当市も経費削減効果の高いリース方式で防犯灯のLED化を推進すべきでは。

答市長 防犯灯のLED化は経費削減と地球温暖化防止施策の両面で効果が期待できます。答市民生活部長 紹介された先進的な事業も参考にしながら、LED化の推進に向けて取り組みます。

◆接遇向上で、おもてなしと思いやりの市役所を

問 職員の接遇向上に向けた今後の取り組みは。

答市長 接遇の重要性は認識しています。品質マネジメントを活用し継続的に接遇能力のレベルアップを図ります。

新生吉川美南高校へ支援を

小野 潔

問 平成25年4月1日より吉川美南高等学校が開校する。

「新校は、1部（昼間部）はビジネスクラスと進学クラスが

あり、自分の進路希望に応じて選択が可能となりました。中でも進学クラスは80人を3クラスで展開する少人数学級編成できめ細やかな徹底した進学指導を行います」と遠藤校長は抱負を語る。開校3年が評価の分れ目です、市ではどの様に支援していくのか。

答市長 悪いイメージを最初から作らないように意欲を持った子供達を保護者の理解のもと送りだし、良い形でスタートさせたい。市としても強くアピールし協力していく。

問 美南地域の防犯体制の充実について①美南駅前交番設置の進捗状況。②美南地域における「防犯灯の計画的な設置と維持管理」とは。

答市長 ①新設の為には市内2ヶ所にある交番の1ヶ所を廃止することが前提になっているが、県と協議していく。答市民生活部長 ②24年度10灯、25年度20灯の計画だが、その後は市全体の防犯灯LEDリース契約の検討時に考慮していく。